

3月11日(月) 非常食体験・総合非常災害訓練



今日は13年前「東日本大震災」があった日です。今の園児たちはあの日を体験していませんが「大きな地震があったんだよ」「お家が崩れてしまって住めなくなってしまった人が沢山いたんだよ」「津波ってわかる?」「電気も水もガスも使えなくなったらどうやってご飯を食べる?」と、下記のイラストを使ってイメージしながら、一緒に考えました。

電気やガスが使えなくなった時に備えておく「非常食」。今日はそれが、どのような物なのか知りながら、園児と一緒に少量の水を入れて60分待てば食べれる「アルファ米のおむすび(非常食)」を作って食べる体験をしました。

総合非常災害訓練と非常食体験を行い、いざという時の為に備えておく事の大切さを学びました



カラカラのお米がほんとに食べれるようになるの?

やはり、すこし固くてポロポロするという感想が多かったです



でも、災害時に美味しいおむすびが食べれるのは、幸せな事ですね



地震が起きたら、どんなことがおきるのかな? 「日常」が恵まれている事に、各年齢なりに、気づくことができるよう、イラストを使ってお話ししました



園児にとっては「非常食」という名前も初めて聞く言葉かもしれません。知っておくことで、興味を広げ、「知る」「備える」ことにつなげます